

西海学園高等学校 年間学習指導計画

科目 論理国語	単位数	4
	コース 学年	公務員コース・3年
使用教科書・副教材等		新編 論理国語(東京書籍) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)

1 学習の到達目標

- ・論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたり読書に親しみ自己を向上させるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元(教材)名	学習のねらい	主な学習活動
	4	最初のペンギン	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。	・段落分け、構成の概要を確認しながら通読する。 ・「譲歩」を用いて論じている部分を指摘し、その効果を考える。 ・「神ならぬ」や「有限の立場」などの語句、および「神」と「人間」の対立図式を確認し、第一段落の内容を整理する。 ・生きるために、不確実性のもとで決断し、海中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を理解し、第二段落の内容を整理する。 ・「感情」「決断」「直感」などの意味を確認しながら第三段落の内容を整理し、不確実性の中での決断の必要性和感情の技術を磨く必要性を理解する。 ・創造することは未知の世界にジャンプすることだという筆者の主張を捉え、第四段落および文章全体の内容を整理する。 ・「不確実な状況下」でどう決断して行動するかということについて考える。
	5	カフェの開店準備 言葉の扉 紛らわしい漢字	・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。 ・紛らわしい漢字について理解する。	・本文を通読して、話の進め方について気付いたことを発表する。 ・第一段落、二段落に書かれている「喫茶の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解する。 ・楽器の演奏に関する考察について理解する。 ・「現在」というものについての筆者の考えを理解し、そのことについて話し合う。 ・「行動の習慣化」「痕跡の残らない行為」について、筆者の考えをもとにして考える。 ・日常生活の在り方について考え、話し合う。 ・「紛らわしい漢字」を通読し、識別の方法を理解した後、間違いやすい熟語や同音異義語の例についても併せて確認する。
	6 7	物語の外から	・二人の語り部に共通する姿から「語る」ということの本質について考えを深める。	・二人の「語り」の場面で筆者が感じたことに注意しながら、本文を通読する。 ・生物多様性についての「質と量」の問題と、それに対する筆者の考えについて読み取り、まとめる。 ・生物多様性を大切にするために必要なことについて、考えたことをまとめ、話し合う。
	9 10	鏡としてのアンドロイド	・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。	・本文について「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら通読する。 ・「技術開発」にもたらす「新たな意味」とは何かを読み取る。 ・「それが自分の脳であることは論理的には理解できる」「他人は、自分を映し出す鏡のようなもの

			だ」とはどのようなことか、読み取る。 ・「乏しい表情」と「止まったアンドロイドのような完全な無表情」とはどのように違うのか、違いをまとめる。 ・「私の研究は自虐的かもしれない」についてこれはどのようなことかを読み取る。 ・「何かを作り出す」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の考えを参考にしながら、「何かを作ること」とはどのようなことであると考えられるか、話し合う。
	11	ロボットが隣人になる とき	・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。
	12	言葉の扉 的確に表現するために	・「意志」「自由」という言葉の意味に注意しながら本文を通読する。 ・「単純な問題ではない」「AIの発展はイメージを崩しつつある」とはどのようなことか読み取る。 ・『『意志』と『欲求』を比較してみよう』とあるが、意志と欲求の違いを読み取り、まとめる。 ・「ロボットは社会的な存在になれるだろうか」という問いに対する筆者の考えを読み取る。 ・「対等の隣人」とあるが、どのような点で対等なのか、筆者の考えを読み取る。 ・筆者が考えるような「自分の意志で自由に行動するロボット」が生まれることは望ましいと考えるかどうか話し合う。
	1	もう一つの知性	・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。
			・「情報化社会」とはどのような社会をいうのか。また情報化社会で重要なことは何か、意見を述べ合う。 ・各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら本文を通読する。 ・本文を読み、例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の2グループに分類する。 ・「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。 ・アメリカの先住民や医療現場の話を経験に科学技術の発達とともに知性がどう変化したか、またトルストイ人生論の話は、どのようなことを目的として紹介されているのかを考えてまとめる。 ・第三段落を読み、「ブリコラージュ」的な知性とはどのような知の在り方をいうのか読み取る。 ・本教材における筆者の主張を理解する。 ・筆者の提案する「知性の可能性」を自分たちの生活にどう生かせるか話し合う。